大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY

2012年8月9日

プレスリリース

大阪大学・科学記者クラブ　各位

公立大学法人大阪市立大学
大学広報室

理学部附属植物園で「ナラ枯れ研究会」を開催します

大阪市立大学理学部附属植物園では、「ナラ枯れ研究会」を10月5日（金）に開催します。

大阪府交野市の私市地区に位置する理学部附属植物園では、2009年頃から夏場にコナラが枯れる現象が観察されるようになり、2011年夏には被害木が急増しました。近年全国的にナラ類やシイ・カシ類の被害が拡大して問題となっている「ナラ枯れ」です。これは、カシノナガキクイムシが樹木に侵入して発生しますが、直接の原因はこの虫が伝播する病原菌によることが明らかになっています。植物園では、森林総合研究所関西支所の協力により、被害木の調査を進め、2011年の秋から被害木の処理と防除に取り組んでいます。

植物園の地元、交野・枚方地域の里山でも、ナラ枯れの被害が出始めており、今後、この地域の大きな問題に発展する可能性があります。このような状況から、なぜナラ枯れが近年拡大しているのか、樹木はどうして枯死するのか、どのような防除対策が考えられるのかなどについて学び、また、被害状況や防除対策について情報交換する場として、研究会を開催します。
ご関心のある方はぜひご参加ください。

記

1　開催日時　　平成24年10月5日（金）　13時00分～16時30分
　（開場（受付開始）時刻　12時45分）
　※交流会は17時00分から18時30分まで

2　開催場所　　大阪市立大学理学部附属植物園　研究棟講義室（大阪府交野市私市2000番地）
　開催場所までのアクセス
　京阪電車交野線「私市（きさいち）」駅　下車徒歩約6分
　※ご来園には公共交通機関をご利用ください。

3　講師
　大住（おおすみ）　克博（かつひろ）氏（森林総合研究所関西支所　森林生態研究グループ　主任研究員）
　衣浦（きぬうら）　晴生（はるお）氏（森林総合研究所関西支所　生物被害研究グループ長）
　黒田（くろだ）　慶子（けいこ）氏（神戸大学大学院農学研究科　応用植物学講座　森林資源学研究室　教授）

4　全体プログラム
　開会の挨拶　園長　飯野盛利(13：00-13：10)

第１部　講演会（13：10-14：50）
・大住　克博「里山の歴史と現状」
・衣浦　晴生「カシノナガキクイムシの生態とナラ枯れ」
・黒田　慶子「ナラ枯れ-木はなぜ枯れるのか？-」
休憩（14：50-15：00）
第２部　現状報告と見学（15：00-16：20）
・植物園の感染・防除状況　（植物園職員）
・交野市の被害状況　藤田（ふじた）　保（たもつ）氏（交野市みどり環境課）
・感染の実態と防除対策（園内見学）　　ほか
総括と閉会の挨拶　園長　飯野　盛利（16：20-16：30）
交流会（17：00-18：30）

5　対象
森林関係の研究者・学生、林業関係者、里山を抱える自治体職員、里山保全活動等に取り組んでいるＮＰＯ法人や市民団体のメンバー、ナラ枯れに関心のある一般の市民の方々　など

6　定員　40 名（先着順）

7　費用　無料（ただし、交流会参加は実費 1,000 円程度）

8　申込方法　　ハガキ、ＦＡＸまたはメール
●ハガキ、ＦＡＸの場合
（1）氏名、（2）住所、（3）電話番号、（4）差支えなければ職業、（5）交流会への参加希望の有無を明記して次の宛先にお送りください。
〒576-0004　大阪府交野市私市 2000 番地　（ＦＡＸは 072-891-2101）大阪市立大学理学部附属植物園「公開研究会」係
●メールの場合　上記（1）から（5）をメール本文に明記して b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp へお送りください。メールの件名は、「公開研究会参加希望」としてください。
締切日　9 月 22 日（土）
申込先　大阪市立大学理学部附属植物園
ホームページ URL　http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/

9　主催：大阪市立大学理学部附属植物園
共催：森林総合研究所関西支所
後援：交野市

（背景）
森林管理や里山保全活動を行っている方たちの間で、ナラ類やシイ・カシ類に被害が拡大して問題となっている「ナラ枯れ」は 1930 年頃から発生が報告されています。しかし、当時の発生

は散発的で比較的短期間で終息していたのに対し、1980 年代以降は日本海側を中心に発生し、その被害が拡大・継続する特徴を見せています。大阪府下でも被害が出るのは時間の問題と考えられていましたが、数年前から発生が報告されるに至っています。

ナラ枯れでは樹齢 40～50 年以上、あるいは直径 20ｃｍ程度の大径木に被害が多いことが知られています。かつて里山は薪炭林として伐採による利用と萌芽更新を繰り返してきました。しかしエネルギー供給事情が変化して薪や炭の需要が減少するのに伴い、里山は利用されず放置されるようになり、大径木が増えていきました。このことが、カシノナガキクイムシの繁殖に適した環境を生み出し、結果的にナラ枯れの被害を拡大していると考えられています。すなわちナラ枯れは里山管理の在り方と密接に関連しています。

当植物園は、1950 年の創設当初から日本の代表的な樹木 11 種類を造成・展示したり、日本産樹木見本園で日本に自生する樹木を立木として展示するなど、樹木や森の展示に力を注いできました。こられの森の造成過程で、もともと自生していたコナラの一部は森の構成樹種として利用すべく、伐採せずに残してきました。それらが現在では直径 30ｃｍを超える大径木となり、カシノナガキクイムシの格好の標的となっています。植物園は多様な森を再現しており、必ずしも里山とは言えませんが、大径木出現という点では里山と共通の問題点を抱えています。

（本研究の目的・特徴）

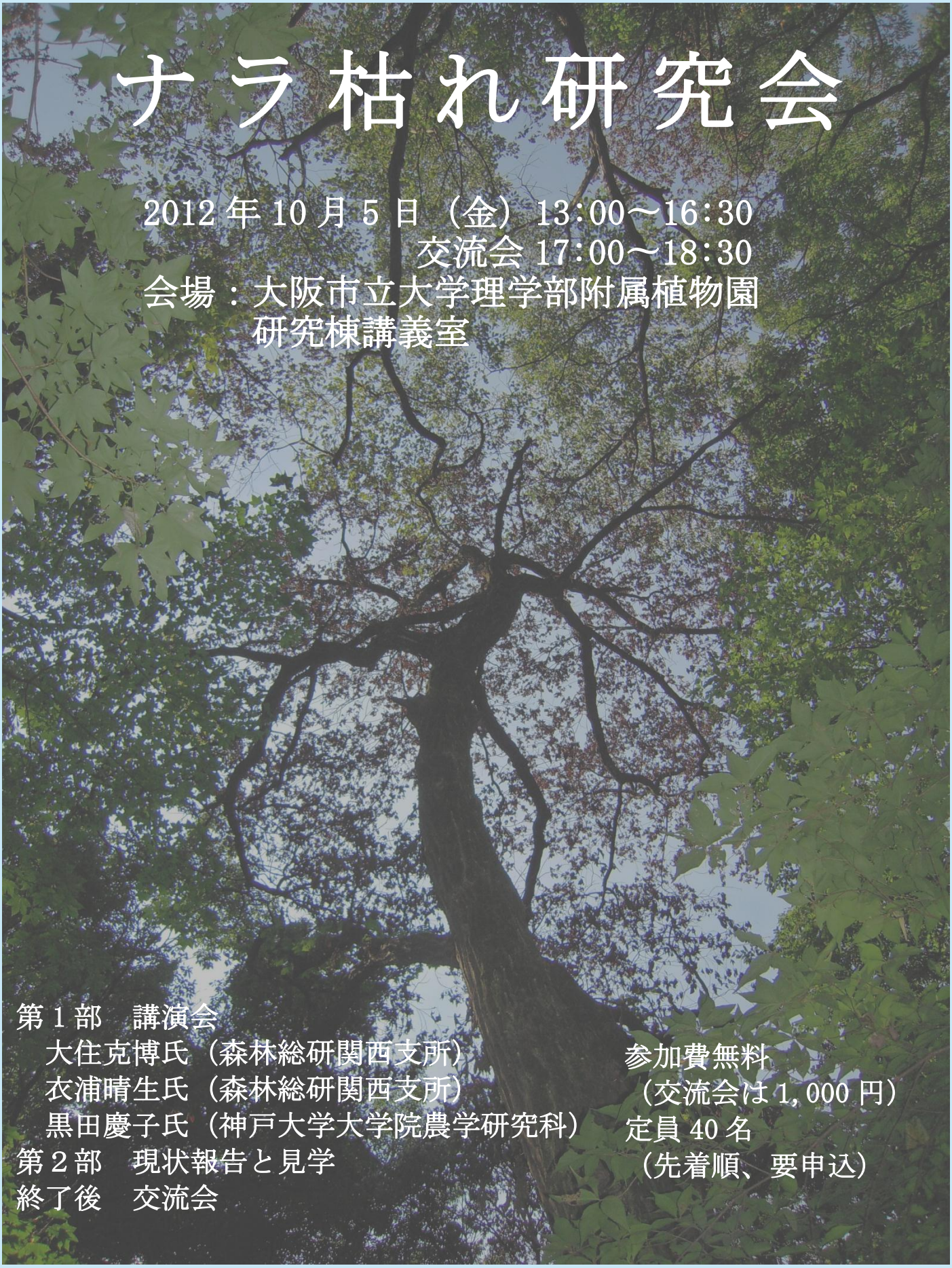
そこで、植物園では園内のナラ枯れ問題に取り組むことで、近隣の里山林が抱える問題にいくばくかでも貢献できたらと考え、園内にナラ枯れワーキンググループを作り、森林総合研究所関西支所の協力をいただきながら以下の点について知見を得ることを目的として調査や防除等の活動を行っています。

１．　園内におけるナラ枯れ発生状況の正確な把握とそれにより失われるバイオマス量の推定
２．　被害木の効果的な処理方法の検討
３．　園内見本園の貴重な樹種などを含む防除方法の検討

本研究は単にナラ枯れの実態調査と被害木の処理、防除に終わるものではありません。植物園の森は造成以来、5 年ごとの毎木調査（樹高と胸高直径の測定）が実施され、長期に渡る森の成長記録の残る貴重な森となっています。この測定記録に基づき、植物園の森におけるＣＯ２吸収量を推定する試みもすでに始まっています。近年、地球温暖化防止の観点から森林のＣＯ２吸収能力に期待が寄せられていますが、ナラ枯れによって大径木が失われることをどのように評価すべきかについては、今後も含めた長期的観測により、初めて明らかになるものと考えられます。造成以来の長期データの蓄積のある植物園の森ゆえに可能となる研究といえます。

【本件に関する問合せ先】
大阪市立大学理学部附属植物園　担当：谷川
TEL：072－891－2059　FAX：072－891－2101

【研究に関する問合せ先】
大阪市立大学理学部附属植物園　講師：植松
TEL：072－891－2681



ナラ枯れ研究会

2012 年 10 月 5 日（金）13:00～16:30
交流会 17:00～18:30
会場：大阪市立大学理学部附属植物園
研究棟講義室

第 1 部　講演会
　大住克博氏（森林総研関西支所）
　衣浦晴生氏（森林総研関西支所）
　黒田慶子氏（神戸大学大学院農学研究科）
第 2 部　現状報告と見学
終了後　交流会

参加費無料
（交流会は 1,000 円）
定員 40 名
（先着順、要申込）

主催：大阪市立大学理学部附属植物園
共催：森林総合研究所関西支所
後援：交野市

詳細については、裏面をご覧ください。

開催趣旨

大阪府交野市の私市地区にある大阪市立大学理学部附属植物園では、2009 年頃から夏にコナラが枯れる現象が観察されるようになり、2011 年夏には被害木が急増しました。全国的に問題となっている“ナラ枯れ”です。カシノナガキクイムシが伝播する病原菌によることが明らかになっています。

植物園の地元、交野・枚方地域の里山でもナラ枯れの被害が出ており、今後、この地域の大きな問題に発展する可能性があります。なぜ近年ナラ枯れが拡大しているのか、樹木はどうして枯死するのか、どのような防除対策が考えられるのかなどについて学び、被害状況や防除対策について情報交換する場として、研究会を開催します。ぜひご参加ください。

研究会概要

●日　時　　2012 年 10 月 5 日（金）　13：00～16：30　（終了後、17：00～18：30 に交流会を開催します）

●場　所　　大阪市立大学理学部附属植物園　研究棟講義室

（大阪府交野市私市 2000　　京阪電車交野線私市駅下車徒歩約 6 分）

★ご来園には公共交通機関をご利用ください。

●プログラム

【第１部】　講演会

・大住　克博氏（森林総合研究所関西支所）「里山の歴史と現状」

・衣浦　晴生氏（森林総合研究所関西支所）「カシノナガキクイムシの生態とナラ枯れ」

・黒田　慶子氏（神戸大学大学院農学研究科）「ナラ枯れ－木はなぜ枯れるのか？－」

【第２部】　現状報告と見学

・植物園の感染・防除状況　（植物園職員）

・交野市の被害状況　　藤田　保氏（交野市みどり環境課）

・感染の実態と防除対策　（園内見学）　　ほか

【終了後】　交流会（講義室にて、希望制）

●対象者　　森林関係の研究者・学生、林業関係者、里山を抱える自治体職員、里山保全活動等に取り組んでいるＮＰＯ法人や市民団体のメンバー、ナラ枯れに関心のある一般の市民の方々　など

●定　員　　40 名

●参加費　　無料　（ただし、交流会参加の場合、参加費として実費 1,000 円をご負担ください）

申込方法・期限

●ハガキ、ＦＡＸまたは e-mail にてお申し込みください。

（1）氏名（2）住所（3）電話番号（4）差支えなければ、職業（5）交流会への参加希望の有無、を明記して

・ハガキ、ＦＡＸの場合　〒576－0004　大阪府交野市私市 2000（ＦＡＸは 072－891－2101）

大阪市立大学理学部附属植物園　公開研究会係へ

・e-mail の場合　メールの件名を「公開研究会参加希望」として b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp へお送りください。

●申込期限　　9 月 22 日（土）、定員を超えた場合、先着順とさせていただきます。

【本研究会に関するお問い合わせ先】

公立大学法人大阪市立大学理学部附属植物園

℡：072－891－2059　FAX：072－892－2101　e-mail:b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp